

教 育

1. 総合科学部

(別添資料)

目 次

別添資料 1	徳島大学総合科学部・大学院総合科学教育部 外部評 価報告書（平成 25 年 3 月）抜粋	・ ・ ・ ・ ・ 1 - 1
--------	---	-----------------

【添付資料1】

『徳島大学総合科学部・大学院総合科学教育部 外部評価報告書』（平成25年3月）p.92より

基準4：学生の受入

『学生の受入』に対する外部評価委員の評価は、1名が「充分達成できている」、2名が「概ね達成できている」であった。具体的に次のように評価がなされ、改善点も指摘された。

「アドミッション・ポリシー」は非常に丁寧に記述されており優れている。これまでの実績をみても学生の受入はきわめて良好な状況にあると評価できる。選抜の方法、入試の実施体制は概ね適切である。なお、博士後期課程で、社会人の志望者数が一般受験生のそれを押している点には留意を要する、と述べられているが、(1)むしろ博士後期課程における定員と入学者実数との不均衡をいかに是正するか、(2)大学院への留学生の割合をどう評価するか、という二点がむしろ重要であるように思われる。

「学生受け入れ方針サイト」をより工夫し、高校生等に理解しやすい内容表示に改善することが望まれる。

受入方針に沿った学生が入学しているかについて、入学者追跡調査検討小委員会で検討、評価されていることは適切である。

教 育

2. 総合科学教育部

(別添資料)

目 次

別添資料 1	徳島大学総合科学部・大学院総合科学教育部 HP に掲載 している FD 報告書	2 - 1
別添資料 2	大学院総合科学教育部の教育改善に関する要望・意 見	2 - 2
別添資料 3	徳島大学大学院総合科学教育部のオリエンテーション 資料 (『履修の手引き』掲載)	2 - 3
別添資料 4	第 5 回大学院生学生生活実態調査報告書 (平成 26 年 10 月調査)	2 - 4
別添資料 5	徳島大学総合科学部モラエス研究会 HP	2 - 6

別添資料1

The screenshot shows a web browser window displaying the website of the Faculty of Integrated Arts and Sciences at Tokushima University. The browser's address bar shows the URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/ias/faculty/self_inspection/fd/. The page header includes the university's logo and name in Japanese and English, along with a search bar and utility links for '交通アクセス' and 'キャンパスマップ'. A navigation menu is located below the header, with '学部案内' (Faculty Information) highlighted in red. The main content area is titled '学部案内' and contains a breadcrumb trail: '徳島大学総合科学部 > 学部案内 > 教育改善(FD)'. On the left, there is a sidebar menu with '学部案内' expanded, showing sub-items like '総合科学部長あいさつ', '改組の趣旨', '学部・学科の特色', '教員紹介・自己点検評価', and '総合科学部 教員メールアドレス'. The main content area is titled '教育改善 (FD)' and contains the text '総合科学部FD報告書を掲載しております。' followed by two links for PDF reports: '2014年度 (総合科学部FD報告書2014)(367KB)' and '2013年度 (総合科学部FD報告書2013)(8MB)'. The browser's taskbar at the bottom shows the Windows Start button, several application icons (Internet Explorer, File Explorer, Google Chrome, Word, Excel), and the system tray with the date '2015/11/19' and time '10:31'.

別添資料2 大学院総合科学教育部の教育改善に関する要望・意見

別添資料2 大学院総合科学教育部の教育改善に関する要望・意見 平成25年10月まとめ

(外部評価委員による評価抜粋)

この教員組織に関する考え方に多少の懸念を禁じえない。それは、「地域科学」に、地域の産業・経済に焦点を絞る社会科学的性格が強く感じられ、歴史・文学・芸術などを担当する教員が大学院担当から外されている点である。(1)「重点研究」とそれを達成するための研究テーマは、各研究分野の参加を念頭におき、周到な計画にもとづいて設定されているが、「地域文化の創造」という考え方には「地域文化」の価値の再発見という歴史的視点が弱いように感じられる。地域の文化は地域のアイデンティティと誇りを強化するはたらきがある。こうした歴史的視点への軽視が上記で述べた大学院教育非担当教員の問題と関係があるように思われる。(H25.3)

(学生からの意見・要望)

大学院の教育体制に関するアンケート抜粋

- ・自分の専門分野の選択科目が少なすぎる。(H23.11)
- ・歴史の学習に関する共通科目が欲しい。(H24.11)
- ・(理系学生)総合科学教育部として幅広く学びたいが、理系的な科目が共通科目に少ない気がする。文系内容が多すぎる。理系もいかせる授業にしてほしい。(H24.11)
- ・(理系学生)人文・社会学が多い。いわゆる理系的なものが存在しないのはおかしい。(H24.11)
- ・(理系学生)文系の授業が多すぎる。心理学とか政策論は特に必要性を感じなかった。(H24.11)
- ・共通科目はいろんな分野の学生に対する科目なのでもっと理解しやすい幅広い内容が含まれている科目がほしい。(H24.11)
- ・(理系学生)共通科目に文系の授業が多すぎる気がします。(H24.11)
- ・専門分野に関係ないものが多く、また大学1年でとる一般教養のようなもので物足りない。(H23.11)
- ・地域科学専攻基盤・地域科学専攻基盤(文系)専門が少ない。(特に英語系)(H23.11)
- ・もっとこちら(専門選択科目)を増やすべきだ(H23.11)
- ・もう少し専門的な分野の科目を増やしてほしい。(H24.11)

大学院総合科学教育部修了生アンケート抜粋

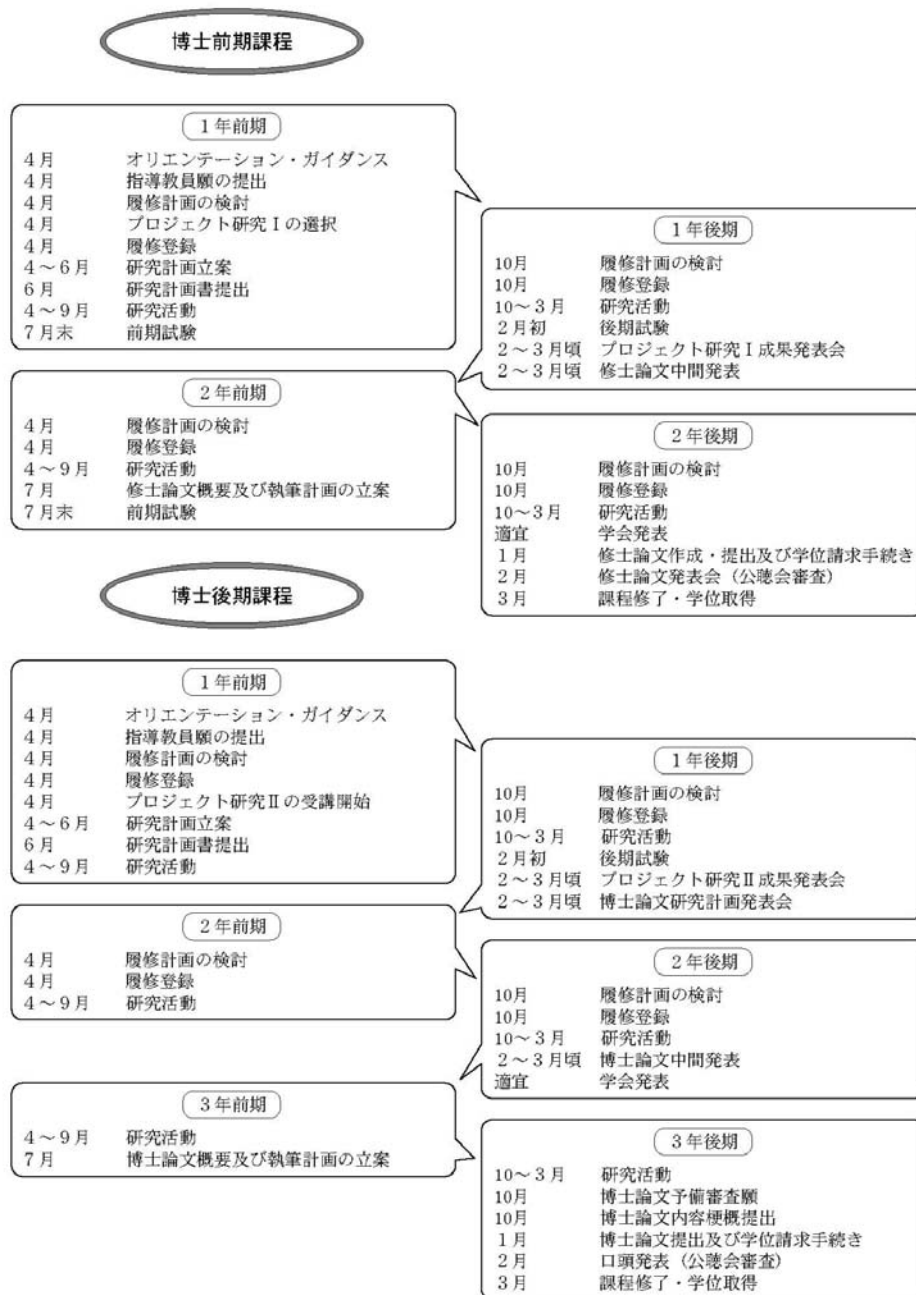
- ・(理系学生)文系の科目が多かった。(H25.3.23)
- ・運動生理学、神経生理学などの生理学系の講義をもう少し開いてほしい。(H24.3.23)
- ・数学、情報の講義が少ない。(H25.3.23)
- ・専門外の科目が難しかったです。(H25.3.23)
- ・全て(ほとんど?)が必修のため、もう少し選択させてほしい。(H25.3.23)
- ・もつ少し理系の科目を増やしてほしい。(H25.3.23)
- ・経済学に関する数学、情報の授業を開設してほしい。(H25.3.23)
- ・専門科目についての授業が少ないかな・・・。(H25.3.23)

教育部長と大学院修了予定者との懇談会抜粋

- ・他分野の学生が加わると浅くなる。(H24.3.8)
- ・他分野の授業は学部の共通教育の延長のように感じた。(H25.3.7)
- ・他分野の学生と一緒にになると、考慮した授業内容になりレベルが下がる。(H25.3.7)
- ・専門外の授業は困った。(H25.3.7)
- ・化学の授業が欲しい。(H24.3.8)
- ・授業と研究がリンクしていないように思う。(H25.3.7)
- ・専門の授業が少ない。・専門科目の割合が少ない。(H25.3.7)
- ・自分の研究テーマに沿っているものが出来れば良いのでは(H25.3.7)
- ・専門に関する授業がもっとあっても良かったのではないか。(H25.3.7)
- ・地学の授業が少ない。(H25.3.7)

別添資料3 徳島大学大学院総合科学のオリエンテーション資料（『履修の手引』掲載）

学年別履修スケジュール



別添資料 4 第5回大学院生学生生活実態調査報告書（平成26年10月調査）

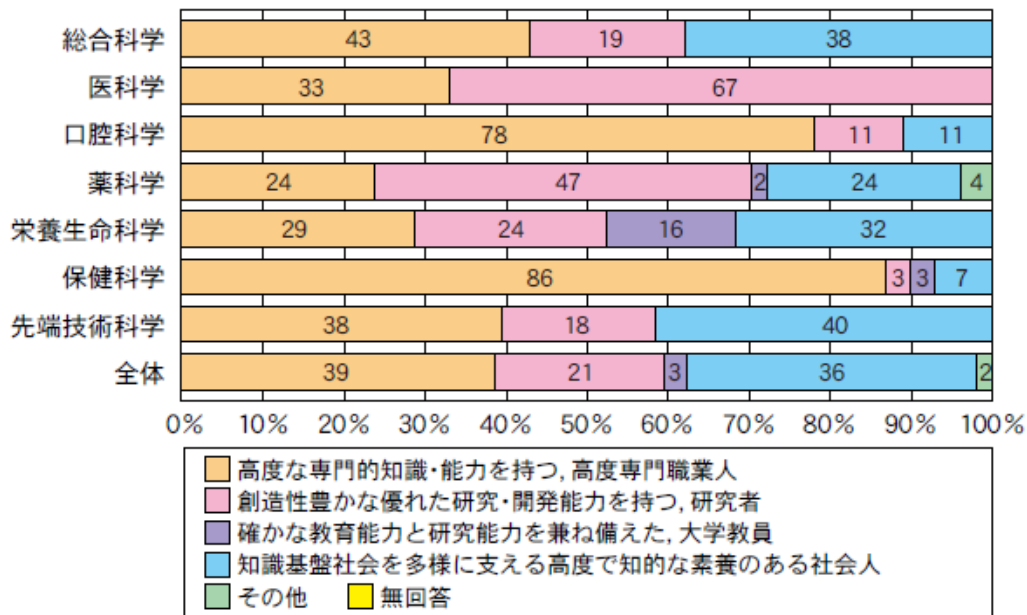


図6-2-7 大学院での勉学で目指すもの

徳島大学大学院博士前期課程の勉学で目指すもの

第5回大学院生学生生活実態調査報告書（平成26年10月調査）， p.79
 総合科学教育部博士前期課程の回答者数 21 / 対象者数 91（回答率 23.1%）

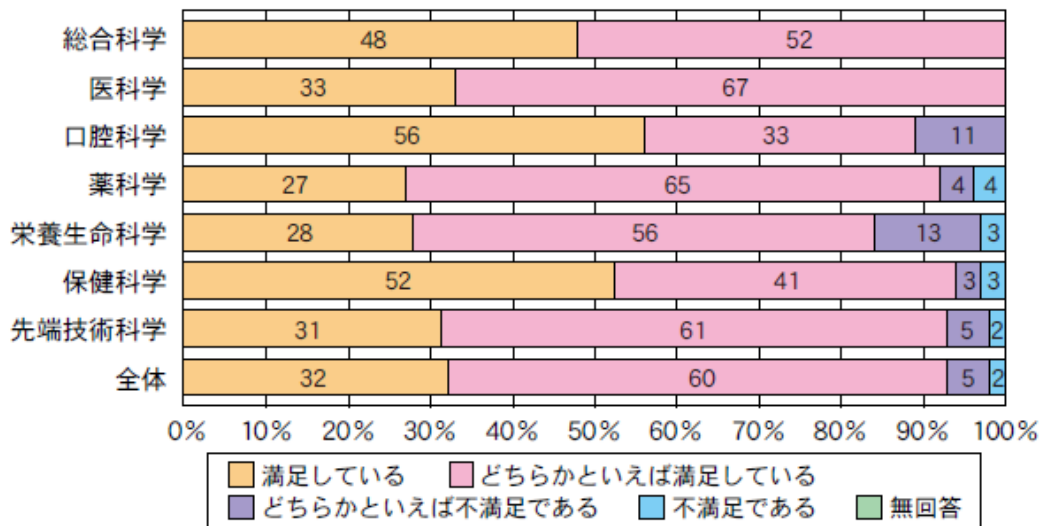
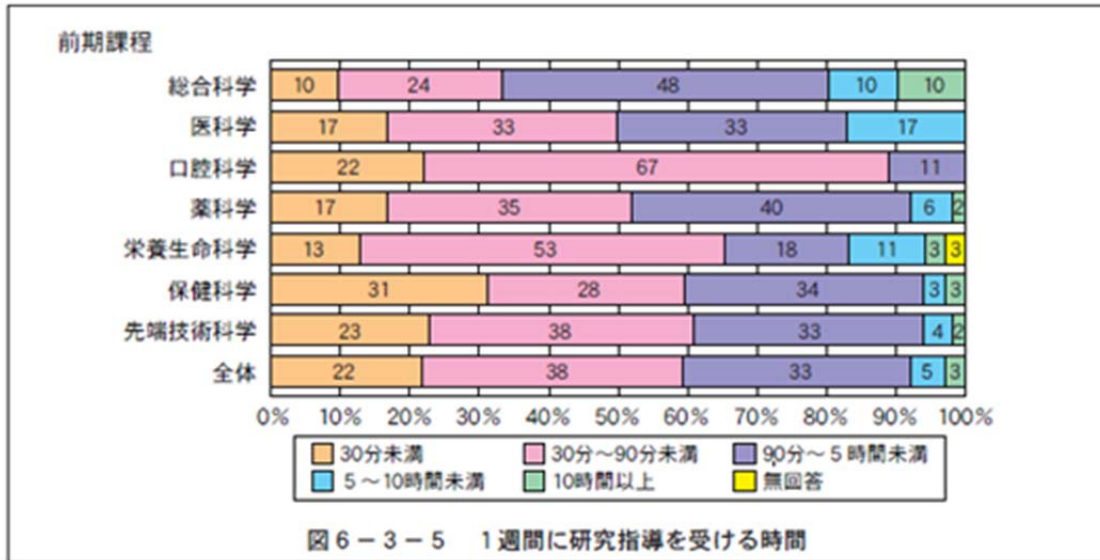


図6-2-9 授業の内容・進め方の満足度

徳島大学大学院博士前期課程における授業の内容・進め方に関する満足度

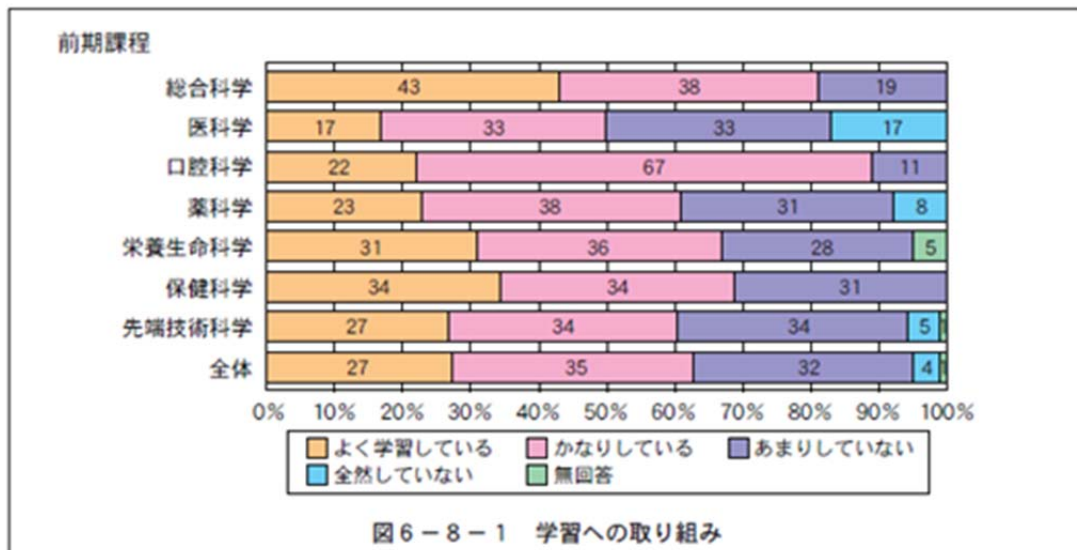
第5回大学院生学生生活実態調査報告書（平成26年10月調査）， p.80
 総合科学教育部博士前期課程の回答者数 21 / 対象者数 91（回答率 23.1%）



大学院総合科学教育部博士前期課程学生の研究指導時間

第5回大学院生学生生活実態調査報告書（平成26年10月調査），p.82

総合科学教育部博士前期課程の回答者数 21 / 対象者数 91（回答率 23.1%）



大学院総合科学教育部博士前期課程学生の学習への取組

第5回大学院生学生生活実態調査報告書（平成26年10月調査），p.99

総合科学教育部博士前期課程の回答者数 21 / 対象者数 91（回答率 23.1%）

別添資料5 徳島大学総合科学部モラエス研究会 HP

http://d.hatena.ne.jp/iasmoraes/

Hatena::Diary 日記 検索

ブログトップ 記事一覧 ログイン 無料ブログ開設

徳島大学総合科学部モラエス研究会

テーマ提供 うごメモはてな

2015-10-21 【モラエス研究会例会・読書会9月26日】

【モラエス研究会例会・読書会9月26日】

いつもながらの遅い更新です。

前回9月26日(土)の例会・読書会では、第7章「国家での生活」を扱いました。「家族」から「部族」へ、そして「部族」から「国家」への広がりによって、日本人が「国家」、祖国に仕えるようになるという図式に、モラエスは日本人の没個性の傾向を見たようです。その集団意識が、職業集団、特に同業者仲間に顕著にみられるという、今の時代でもみられる傾向に目を向けています。

Calendar

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

プロフィール

iasmoraes

8:06
2015/11/22

教 育

3. 医学部

(別添資料)

目 次

別添資料1 医学部の学科ごとの各ポリシー・・・・・・・・・・ 3-1

別添資料2 医学部の学科ごとのカリキュラムマップ・・・・・・・・ 3-6

アドミッションポリシー

医学科

生涯にわたり医療、教育、研究、保健・福祉活動を通して社会に貢献する、次のような人を求めています。

1. 病める人の気持ちが理解できる温かい心をもつ臨床医をめざす人
2. 医学研究並びに教育の発展に貢献する医学者をめざす人
3. 医療行政、福祉の領域で国民の健康の維持・増進に尽くす人

医科栄養学科

『食律生命』の理念のもとに、医学と連携した医科栄養学を通して、高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる、次のような人を求めています。

1. 疾患の病態および治療を理解し、医学に立脚した管理栄養士をめざす人
2. 栄養施策を企画し、国内外において社会に貢献することをめざす人
3. 栄養学分野の研究・教育機関で活躍することをめざす人

本学科は栄養学の分野（研究者、管理栄養士、教育者など）において指導者として貢献できる人材の育成を目的としており、全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と道徳性を身につけておくことが必要です。

特に以下のものについて修得しておくことを希望します。

1. 英語 — 医学・栄養学の専門的な論文を将来読み理解するための読解力と、表現力、コミュニケーション能力
2. 数学 — 数学の基本的な概念や原理・法則の理解、計算力と論理的な思考法
3. 理科 — 自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探求心
4. その他 — 食生活や医療に対する関心を持ち、理論的に科学を思考する能力と姿勢

保健学科

看護学専攻

国際化、高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに、健康の維持・増進、生存の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。

1. 国語 — 文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力
2. 地歴・公民 — 基礎学力を有し、社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力
3. 数学 — 基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力
4. 理科 — 自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力
5. 外国語 — 基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

別添 1

放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学及び医学の知識を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもち、さらに医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、放射線技術科学を通じ医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。

- 1.国語・外国語－基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力
- 2.地歴・公民－将来、地域や国際社会で医療人として、また良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養
- 3.数学－「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力
- 4.理科－「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

検査技術科学専攻

医学並びに医療に対する関心が高く、豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために必要な学力を有する人を求めています。

従って、本専攻に入学までに次のものを身につけておくことを希望します。

- 1.国語・外国語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力・読解力
- 2.地歴・公民－将来、良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養
- 3.数学－「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、基本的な概念や原理・法則を理解する能力と数学的な思考力
- 4.理科－「物理」、「化学」及び「生物」の幅広い知識と科学的な探求心

カリキュラムポリシー**医学科**

医学科では、基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材を養成することをめざし、以下のようなカリキュラムを編成している。

- 1.全学共通教育は他学科、他学部の学生と一緒に実施し、語学、自然科学や社会科学の幅広い教養及び持続可能な社会づくりの担い手たる資質としての進取の気風を身につけさせる。
- 2.専門医学教育では医師、医学研究者を目指す上で必要な生命科学、医学英語、基礎医学、社会医学及び臨床医学の基盤知識の教育を行う。臓器疾患別教育では PBL チュートリアル教育による自己決定型学習方法を用いて、自己開発・自己評価の習慣と科学的根拠に基づいた問題解決能力の修得をはかる。

別添1

3. 医学研究への関心を持たせるために、基礎医学・臨床医学分野及び学内各研究センターでの自主的な医学研究実習を行わせ、外国での研究経験を積ませる。また、希望する学生はMD-PhDコースに進学させる。
4. クリニカルクラークシップを含めた臨床実習において、診療現場を体験させるとともに、医療チームの一員として学習することで、医学知識、思考能力、診療技能、コミュニケーション能力、倫理観、医療プロフェッショナルリズムなどを含めた、医師として必要な基本的な知識、技能、態度の育成をはかる。また、学外医療機関での実習により、地域社会と医療との関わりについても学習させる。
5. 医療系の他学科、他学部学生との職種間連携教育を通して、他職種に対する理解を深め、チーム医療遂行に必要な能力の育成をはかる。

医科栄養学科

医科栄養学科では栄養学を基盤として食は生命の基盤であることを社会に情報発信するとともに、医療現場における栄養管理学を発展させ臨床栄養管理を指導できる人材を養成することをめざし、以下のようなカリキュラムを編成している。

1. 全学共通教育を通じて、広範で多様な基礎的知識と文化や自然科学等の幅広い教養を修得させるとともに、持続可能な社会づくりの担い手たる資質としての進取の気風を身につけさせる。
2. 基礎専門科目において、生化学、生理学、基礎医学、臨床医学などを基盤に、人間栄養の基礎知識を修得させる。
3. 専門科目において、管理栄養士養成コアカリキュラムの教育内容を網羅し、医学教育を基盤とし臨床栄養学をより充実させることで、高度な専門的基礎知識を備え、医師や他の医療専門職と協働して、リーダーシップを発揮できる管理栄養士を育成する。
4. 実習や演習を問題解決型授業ととらえ、実践能力を開発するとともに社会から求められる知識や知恵を修得させる。
5. 卒業研究において、実践的な技術や能力を習得させるとともに、研究の意義や楽しさを理解させ、問題を解決する手法を修得させることで、指導者となる管理栄養士及び教育者・研究者をめざす人材を育成する。

保健学科

保健学科では、幅広い教養と豊かな人間力を基盤として、保健学の高度な専門性と実践的な臨床能力を兼ね備えた人材を養成することをめざし、以下のようなカリキュラムを編成している。

1. 「教養教育」を通じて、人間・文化・社会・自然に係る幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観を修得させるとともに、持続可能な社会づくりの担い手たる資質としての進取の気風を身につけさせる。
2. 「全学共通教育科目」及び「学科共通科目」の講義と様々な体験を通し、社会性及び人間関係の形成を理解させ、医療人として必要な人間力とコミュニケーション能力を修得させる。
3. 「学科共通科目」及び「専門科目」を通じて、専門知識と技術を系統的、段階的に修得させ

別添1

る。知識・理解を深めるための基礎科目，汎用的技能や態度・志向性を高めるための演習・実習，統合的な学習経験と創造的思考力を育むための実習を通し，保健学の複合的な視点から高度な専門分野を理解させる。

4.客観的臨床能力評価に基づいて基本的臨床技能を修得させ，「臨地・臨床実習」を通じて，実践的な臨床能力及び多様な問題解決能力を身につけさせる。

5.「学科共通科目」及び「専門科目」の主体的な選択に基づく学習を通じて専門性を深化させ，「研究」により自主的・創造的な学究の姿勢と専門分野における主体性・指導性を修得させる。

ディプロマポリシー

医学科

次の能力を有すると認められた者に学士の学位を授与する。

1.知識・理解

基礎医学，社会医学及び臨床医学の幅広い知識を修得し，高い教養と倫理観を身につけている。

2.汎用的技能

生命科学の基本的研究手技，診断及び治療の基本的技能を理解し修得している。

3.態度・志向性

専門職業人としての強い責任感，指導力，意思疎通能力を磨き，探求心・研究心を養い，高度先進医療にも地域医療にも対応することができる。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

幅広い知識を背景に，常に医療の最新情報を収集・実践できる能力を高めている。

医科栄養学科

次の能力を有すると認められた者に学士の学位を授与する。

1.知識・理解

医療現場や地域社会において，医学を基盤として食を通じた疾患予防及び健康増進に必要な基礎・専門分野の知識を修得している。

2.汎用的技能

(1)病態の分子基盤を理解し，科学的根拠に基づく適切かつ高度な栄養管理・栄養療法を行うことができる。

(2)食の専門家として，他の職種の人々と円滑な連携を取りながらチーム医療及び地域医療に携わることができる。

3.態度・志向性

(1)患者及び地域住民の栄養管理・栄養改善に寄与するために，責任を持った行動をとることができる。

(2)進歩する臨床医学に対応できる医科栄養学の専門職業人として，生涯学び続ける意志を持つことができる。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

別添 1

修得した基礎から臨床分野までの専門的知識を基盤とし、医療や社会のニーズに対応した最新の栄養管理及び栄養改善を行う能力を有する。

保健学科

次の能力を有すると認められた者に学士の学位を授与する。

1.知識・理解

- (1)幅広い教養と専門分野に関する学問知識を修得している。
- (2)人間性・科学性及び国際性を身につけ、医療の担い手としての基本的能力を有する。

2.汎用的技能

患者・家族等及び医療チームのスタッフと円滑なコミュニケーションをとり、客観的評価に基づいた臨床能力を持って医療人としての役割を果たすことができる。

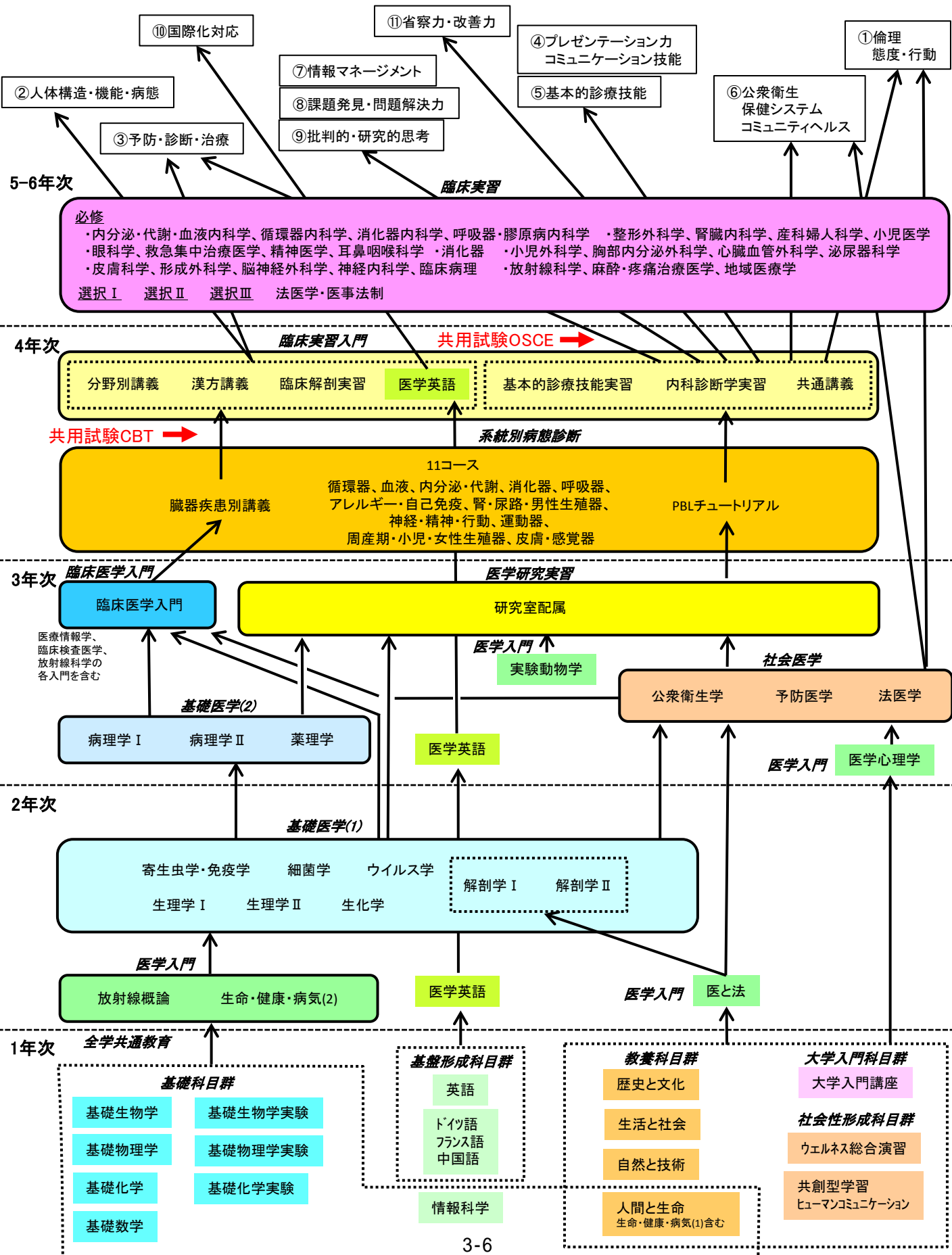
3.態度・志向性

各専門分野で指導的立場に立ち、高度化・専門化する医療を支え、保健学の発展に寄与することができる。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

基礎理論から高度な臨床応用へ至る系統的かつ実践的な学習経験を基盤として、保健、医療、福祉分野の多様化するニーズに対応し、最新の技術や医療情報に基づいて自らの能力・専門性を高めることができる。

徳島大学医学部医学科カリキュラムマップ ver.2014_1212



カリキュラムマップ(保健学科 看護学専攻)

人間関係

看護統合実習
高齢者看護学実習Ⅱ
成人看護学実習Ⅰ
成人看護学実習Ⅱ
精神看護学実習
母性看護学実習
小児看護学実習Ⅰ
基礎看護学実習Ⅱ



基礎看護学実習Ⅰ
高齢者ふれあい実習

看護学の統合

看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ
リスクマネジメント 看護倫理 看護管理学 看護教育学

看護実践

高齢者援助論
在宅看護援助論 成人援助論Ⅰ 成人援助論Ⅱ
小児援助論 母性看護援助論 精神看護援助論

ヘルスケアマネジメント 看護導入実習
看護技術Ⅰ 看護技術Ⅱ 看護技術Ⅲ 看護技術Ⅳ
在宅看護学概論 成人看護学概論 高齢者看護学概論
小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論

看護専門

看護学概論
看護理論

看護の基礎

看護栄養管理論
疾病論Ⅱ 疾病論Ⅲ 疾病論Ⅳ
免疫学Ⅰ 病理学Ⅰ 疾病論Ⅰ
生化学Ⅰ 衛生学 薬理学 栄養学
解剖生理学Ⅳ 放射線衛生学 救急医療論
解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅲ

教養

人間関係論

保健学概論 医療経済論 社会福祉概論 精神保健 情報科学 ウェルネス・共創型・ヒューマン
大学入門講座 歴史と文化 自然と技術 人間と生命 生活と社会

地域への展開

看護実習事前事後指導
教職実践演習 養護実習
チーム医療論

公衆衛生看護学実習
在宅看護学実習
公衆衛生看護援助論
健康教育方法論
健康管理論

健康相談活動
教育指導論
教育相談
生徒指導論
教育方法学
特別活動研究

道徳教育
学校制度論
教育課程論

教育心理学
教育学 教師論

教育看護学
家族看護学
災害看護学

保健医療福祉行政論
がん看護論

リハビリテーション看護論
学校保健論

ケアマネジメント
ケアシステム論

情報処理・統計学演習
情報処理・統計学

カウンセリング
ポランティア活動

原書講読Ⅰ
国際看護活動論

国際

原書講読Ⅱ

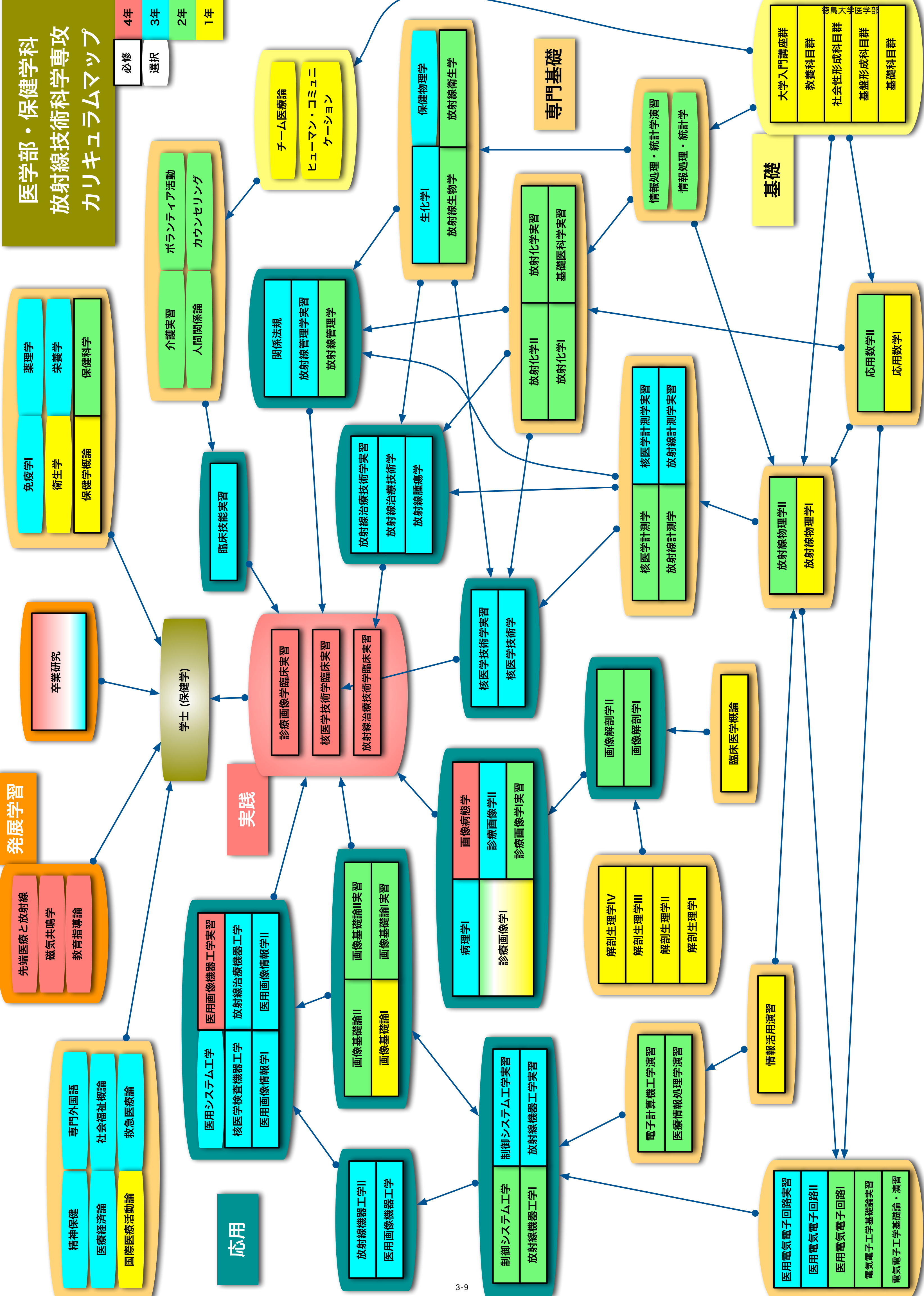
国際看護学部

英語
独・仏・中

医学部・保健学科 放射線技術科学専攻 カリキュラムマップ

4年
3年
2年
1年

必修
選択



教 育

5. 栄養生命科学教育部

(別添資料)

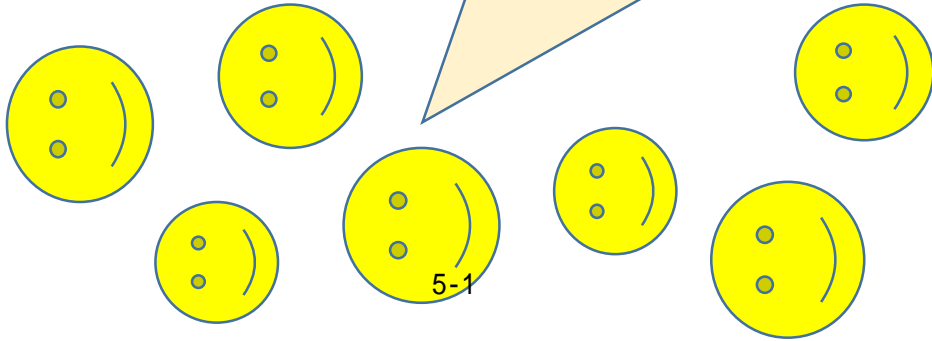
目 次

別添資料1	がんプロ学生 e-ラーニングアンケート結果・・・	5 - 1
-------	--------------------------	-------

★中四がんプロeラーニングについてご意見をいただきました。

- 学生A：スライドや講師の声がはっきり聞こえる。
- 学生B：教室で生の授業を受けているのと、全く遜色ない。
- 学生C：がん診療における地域の幅を広げることができる。
- 学生D：操作そのものはむずかしくない、いいと思う。
- 学生E：使いやすい。授業の調整を気にせず、空いた時間で講義を聴けるのがありがたい。
- 学生F：時間を気にせずに勉強をすることができる。
- 学生G：他県の先生方の授業を気軽に聴講することができるので、貴重な機会に感じる。
- 学生H：特に不自由なく使用できる。
- 学生I：事前に十分に練られた授業内容・スライドが提供され、充実した授業内である。
- 学生J：どこでもインターネット環境があれば講義を受けることができるのは便利だと思う。

ありがとうございます。
今後もコンテンツの充実に努めていきたいと思えます。
引き続き、eラーニングをご活用ください。



学生

事務局

1

★皆様からのご意見について回答いたします。



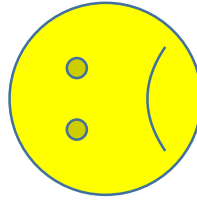
学生A

Google Chrome(だったと思います)では開けなかつたりするので、改善していただけると助かります。



事務局

Google Chrome でWMV形式のコンテンツを視聴するには、Windows Media Player プラグインが必要です。
下記のアドレスより、プラグインの確認をしてください。(外部サイト)
<https://support.google.com/chrome/answer/95697?hl=ja>



学生B

- ①メディアプレイヤーを用いて受講できるので使いやすいが、時に映像が止まってしまうのが残念。
- ②自宅や大学の個人のパソコンでのネット環境(UQ WiMAXや医局内サーバーからの個別受信)では、ダウンロードに時間がかかりすぎてうまく視聴できない。
- ③ストリーミングがスムーズでないので改善してほしい。



事務局

申し訳ございません。
Web上の配信には配慮しておりますが、高画質での収録や編集によるものと思われれます。

★皆様からのご意見について回答いたします。



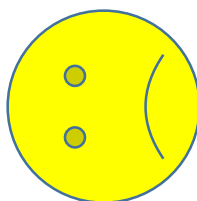
学生C

聞き取れるレベルの速さで早送り(1.2倍速など)ができるようになってほしい。



事務局

申し訳ございませんが、機能がありませんので現状では厳しいです。



学生D

受講しながら書き込みができるように、pdfで資料を配布して欲しい。



事務局

WEB上では、pdf資料の配布を一部行っております。
pdf資料の配布については検討したいと思います。



学生E

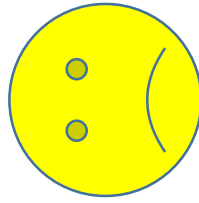
講義時間や講師名を一覧の中で示していただけると、学習時間の余裕の有無や興味に応じて、どの講義から選択して受講するかを決めやすいと思います。



事務局

貴重なご意見ありがとうございます。検討させていただきます。

★皆様からのご意見について回答いたします。



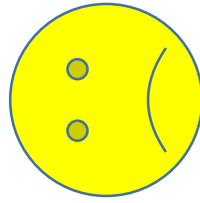
学生F

看護面をもう少し充実してほしい。



事務局

日本看護協会の方針でeラーニングの受講では単位認定にならないことからコンテンツとして構築するのが現状です。クラウドをご利用ください。



学生G

CD-ROMの貸し出しをお願いしたい。また、CD-ROMの画像ソフトも、できればMac対応のメディアソフトも可能であればお願いしたい。



事務局

所属大学のコンテンツについては、所属するがんプロ事務局にご相談ください。他大学のコンテンツによるCD-ROMの貸し出しは行っておりませんので、WEB上で繰り返しご視聴ください。

愛媛大学(089)960-5868 岡山大学(086)235-7023 香川大学(087)891-2075
川崎医科大学(086)464-1012(内線:31124) pgkym@med.kawasaki-m.ac.jp
高知大学(088)880-2799 山口大学(0836)22-2055

★皆様からのご意見について回答いたします。



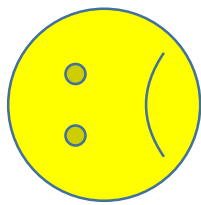
学生H

可能ならeラーニングの選択画面で各疾患やテーマだけでなく、講師の先生の名前が表示されていると選択しやすい。



事務局

ログイン後、左側のがんプロ科目を選択すると各大学の講義一覧画面になります。そこで、講義名をマウスで指し示すと講師名が表示されます。



学生I

どの講座が、どのシラバスの項目に相応しているのかが分かりにくい。どの動画を見てレポートを書くべきかももう少しわかりやすいと助かります。



事務局

講義名が大学により異なっておりますので、がんプロ科目名でご確認いただくことになります。詳しくは、所属大学のがんプロ事務局にお尋ねください。

★皆様からのご意見について回答いたします。



学生E

- ①講義の抜けがもう少し埋まるといい。
- ②視聴できる講義を増やしてほしい。内容は勉強になるが、重複しているものが多い。



事務局

コンテンツの充実に努めてまいります。
看護面においては働きかけているところです。



学生F

- ①特に問題なく使用できているが、画像が見にくいものがある。画像・音声が悪い。
- ②ポインタ等で指している箇所がわからないことがある。
- ③少なくとも年1回は講義をupdateして欲しい。



事務局

- ①申し訳ございません。収録や編集によるものと思われませんが、できるだけ解決できるように努めてまいります。
- ②収録する際に指している箇所がわかるように指導し、できるだけ努めてまいります。
- ③更新頻度は大学により異なりますが、更新につきましてはできるだけ努めてまいります。

教 育

10. 薬科学教育部

(別添資料)

目 次

別添資料 1 徳島大学薬学英语研修プログラム・・・・・・・・・・10-1

別添資料 2 英語学習サポートのご案内・・・・・・・・・・10-5



[徳島大学薬学部・大学院](#) > [学部案内](#) > [講座・研究室](#) > [生物有機化学](#) > [多機能性人工エキソソーム\(iTEX\)医薬品化実践を通じた操薬人育成事業](#) > [徳島大学薬学英語研修プログラム](#)

学部案内

薬学部概要

施設案内

学部案内

薬学部案内

講座・研究室

医薬品病態生化学

医薬品情報学

医薬品機能生化学

生薬学

機能分子合成薬学

薬剤学

薬物治療学

神経病態解析学

衛生薬学

有機合成薬学

生物有機化学

創薬生命工学

臨床薬学実務教育室

薬用植物園

生物薬品化学

臨床薬剤学

臨床病態学

分子情報薬理学

分子創薬化学

薬品製造化学

創薬理論化学

製剤設計薬学

薬品分析学

附属施設

自己点検・評価

薬学部だより

薬学共用試験

長井長義先生

徳島大学薬学英語研修プログラム

フィリップ・ホーク先生講演会・特別講義

フィリップ・ホーク先生を招聘し、講演会および特別講義を開催しました。講義の様子をご紹介します。

平成27年9月3日(木)

大学院生を対象とした講演会では、2日間を通して英語プレゼンテーションをテーマに、プレゼンテーションの技術や質疑応答でのコミュニケーション法を総合的に改善していくための重要なポイントなどについて、実例を交えて解説して頂きました。



平成27年9月4日(金)

学部1・2年生を対象とした特別講義では、薬学生に必要な薬学英語について講義して頂きました。



フィリップ・ホーク先生特別セミナー

フィリップ・ホーク先生を招聘し、特別セミナーを開催しました。本セミナーは英語での口頭発表を効果的に行うための実践的な学習を目的とし、研究室単位での学習を行いました。セミナーの様子をご紹介します。

平成27年2月16日(月)

数名が実際に発表・質疑応答のデモンストレーションを行い、表現方法や発音、スライドの記載方法など、それぞれの改善

点や効果的な発表方法について適切な助言と指導を得ることができました。

徳島大学薬科学教育部



平成27年2月17日(火)

研究室単位での参加ができなかった教員からの要望があり、個人セミナーで対応し同様の学習を行いました。

最後に全体セミナーを行い、各研究室の発表デモンストレーションについての評価と総合的なアドバイスを得る機会を設けました。



テレサ・アレン先生、フィリップ・ホーク先生特別講演会

7月に続き静岡県立大学薬学部講師 フィリップ・ホーク先生と、今回ブリティッシュコロンビア大学薬学部兼任教授のテレサ・アレン先生を招聘し、徳島大学薬学英語研修プログラムを開催しました。講演会の様子をご紹介します。

平成26年10月27日(月)

アレン先生の特別講演会では、世界のDDSマーケットでますます必要とされている英語力についてお話を頂きました。



平成26年10月28日(火)

学部4年生・大学院生対象講座では、医歯薬学部生が英語を学習することの重要性を学び、英会話を中心としたコミュニケーションとグループ学習を行いました。



平成26年10月29日(水)

大学院生対象講座では、英会話でのコミュニケーションやグループ学習を行った後、効果的な英語プレゼンテーション法を学びました。



フィリップ・ホーク先生特別講演会

iTEX事業の一環として、カナダ出身の静岡県立大学薬学部講師 フィリップ・ホーク先生を招聘し徳島大学薬学英語研修プログラムを開催しました。講演会の様子をご紹介します。

平成26年7月17日(木)

学部1～3年生・教員対象講座では、英会話を中心とした英語でのコミュニケーションを学習しました。



平成26年7月18日(金)

学部4年生・大学院生・教員対象の講演では、英語プレゼンテーションをテーマに、薬学部教員の英語プレゼンテーションの様子をビデオ録画したものを教材として利用し、効果的なコミュニケーション法を学びました。



懇親会のBBQの様子です。



お問い合わせ

生物有機化学

[ページの先頭へ戻る](#)

| 学部案内 | 大学院案内 | 教育・研究 | 学生生活 | 入試案内 |

| [採用情報](#) | [リンク集](#) | [プライバシーポリシー](#) | Powered by Joruri 

徳島大学薬学部 〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1 TEL:088-633-7245

Copyright© Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokushima University All Rights Reserved.

別添資料 2

iTEX (多機能性人工エクソソーム(iTEX)医薬品化実践を通じた操薬人育成事業)
(創業人育成のための創業実践道場教育構築事業)

英語学習サポートのご案内

徳島大学薬学部の皆さんの英語学習支援をおこなっています

英会話セミナー開講中です

下記のテーマ別にダイアログを用いて役立つ英会話表現を学習しています。

◆ 日常英会話 月 9:15~10:00、水 13:15~14:00

◆ 研究室の英会話 火 9:15~10:00、木 13:15~14:00

◆ 薬剤師の英会話 金 9:15~10:00

※月・水・木はセミナー室3、火・金はセミナー室5にて実施しています。
※月と水、火と木は同様の内容です。

このほか、**英語学習相談**、**英文校正**、**英語プレゼン(口頭・ポスター)準備**のサポートもおこなっております。また、**教員の方へのサポート**もおこなっておりますのでご相談ください。サポートの詳細に関するお問い合わせやご相談等は下記担当者までご連絡ください。

最新情報と英会話スケジュール(ブログ) :

<http://tokuyakueigo.blogspot.jp/>

担当者 :

竹内(薬物動態制御学 技術補佐員) 内線6225

e-mail: tokuyakueigo@gmail.com

または takeuchi.mitsue@tokushima-u.ac.jp

